

ACT京都(京都市成長産業創造センター)

ものづくり現場における人材育成研修

— 基礎編：全5回 —

ACT京都は、中小ものづくり企業が数多く立地する、日本でも有数の製造業の集積地である「らくなん進都」における、新産業創成・育成のための「技術のインキュベーション型研究支援センター」です。

このたび、ものづくり現場で必要となる基礎的なことについて学ぶ計5回の研修会を開催します。ぜひご参加ください。

参加無料
(各回30名)

ご希望の講座をお申込みください。全講座お申込みいただくこともできます。
各講座の詳細は裏面をご覧ください。

第1回 1/17 (金) 生産性向上活動の全体像と事例紹介

15:00~17:30
17:30 交流会 (千円)

講師：荒木 慎吾 氏 (中小企業診断士 荒木慎吾事務所)
高橋 晃 氏 (有限会社テクニカル・ワーク 代表取締役)

第2回 1/28 (火) 原理・原則で考える現場 カイゼン基礎セミナー ①

14:00~17:00
17:00 交流会 (千円)

講師：皆川 健多郎 氏 (大阪工業大学 工学部 環境工学科 教授)

第3回 2/12 (水) 原理・原則で考える現場 カイゼン基礎セミナー ②

14:00~17:00

講師：皆川 健多郎 氏 (大阪工業大学 工学部 環境工学科 教授)

第4回 2/21 (金) ミス・トラブル防止のための安全管理

14:00~17:00
17:00 交流会 (千円)

講師：東瀬 朗 氏 (新潟大学 工学部協創経営プログラム 准教授)

第5回 3/10 (火) 生産性向上に役立つ品質管理手法とグループワークでの実習

15:00~17:30

講師：荒木 慎吾 氏 (中小企業診断士 荒木慎吾事務所)

【場 所】 ACT京都(京都市成長産業創造センター) 2階 セミナー室

(〒612-8374 京都市伏見区治部町105番地) ※油小路丹波橋アクト京都前バス停下車すぐ

【定 員】 各回 30名 (定員になり次第締切)

【参加費】 無料 (ただし、交流会費:1,000円/各回)

【対 象】 ものづくり中小企業の皆様 (どなたでもご参加いただけます)

【申 込】 ACT京都ホームページの申込フォームからお申込みください。(開催日の前日まで受付)

URL: <https://www.act-kyoto.jp/events/seminar20200117-0310.html>



【お問合せ】 公益財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM)
地域産業活性化本部 京都市成長産業創造センター (ACT京都)
E-mail: hashiwatashi@astem.or.jp TEL: 075-603-6700





第1回 1/17 (金) 生産性向上活動の全体像と事例紹介

講師：荒木 慎吾 氏 (中小企業診断士 荒木慎吾事務所)
高橋 晃 氏 (有限会社テクニカル・ワーク 代表取締役)

ものづくり企業が、スムーズな生産活動のために実施している取り組みのひとつが「生産管理」です。生産管理では、計画や資材、人員、設備といった生産活動に必要な管理全般を行います。これらの管理を適切に行い、生産性を向上させることが企業の成長につながるため、生産管理はものづくり企業にとって非常に重要な取り組みです。

初回はこの生産管理の全体概要を学びます。前半では総論として、生産管理を行う上で重要となるQCD (Quality (品質)、Cost (コスト)、Delivery (納期)) のポイントと5Sの実践手法についてお話しします。また、後半は切削加工会社、(有)テクニカル・ワークの生産性向上の取組み事例について対談形式で紹介いたします。

第2回 1/28 (火) 原理・原則で考える現場 カイゼン基礎セミナー ① ②

～座学と演習で学ぶ体験型の講座～

講師：皆川 健多郎 氏 (大阪工業大学 工学部 環境工学科 教授)

※このセミナーは2回連続での受講をお勧めします※

多品種少量生産への対応、製品ライフサイクルの短期化、人材の確保など、現在のモノづくりの現場では様々な課題に対応していく必要があります。この状況下にて、顧客と約束したQCD (生産管理) を守るためには、“現場力”を計画的に鍛えていく必要があります。一方、我が国が迎える人口減少そして高齢化社会に対応するために、IoT、インダストリー4.0そしてロボット化といった“スマートモノづくり”への取り組みも進行しつつあります。スマートモノづくりの前提がIoTと思われているところもありますが、これらは1つの手段であり、地道な“カイゼンの延長線上にIoTがある”と考える必要があります。そしてカイゼン活動を効果的に進める際に有用なのが「原理・原則」の活用です。

本セミナーは、大阪工業大学ものづくりマネジメントセンターが開発した体験型の演習を通じて、原理・原則に基づいたカイゼン活動の進め方について、わかりやすく説明をさせていただきます。

<第1回 (1月28日)> 「動作におけるムダの発見とカイゼン」

カイゼン活動は、原理・原則の考え方を有効活用することで、効率的に進めることが可能となります。ここでは、その考え方について、ブロック玩具を活用したグループワークでの演習を通じて、理解を深めていただきます。

<第2回 (2月12日)> 「流れにおけるムダの発見とカイゼン」

第1回では動作に着目し、点のカイゼンについて説明をしました。今回は、点をつなげた流れにおけるカイゼンを、ブロック玩具をつかったグループ演習をつうじて理解を深めていただきます。さらに、カイゼンによる収益の変化について説明をいたします。

第4回 2/21 (金) ミス・トラブル防止のための安全管理

講師：東瀬 朗 氏 (新潟大学 工学部協創経営プログラム 准教授)

ものづくりの現場において、事故を防ぐこと及びミス・トラブルを撲滅することは永遠のテーマのひとつです。ミス・トラブル・事故を減らすためには、「そもそもミス・トラブル・事故はなぜ起きるのか」「起きた原因をどのように突き止めるか」「個人の不注意と手順・環境の問題をどのように切り分けるか」「再発防止策が乱立しないようにするにはどうするか」など考えるべきことがたくさんあります。

本研修では、ミス・トラブル・事故を減らすために行う「管理」にフォーカスをあて、ものづくり現場で知っておくべき安全管理に関する理論と、予防・原因究明・再発防止に使えるさまざまな考え方及びテクニックについて講義及び演習を通じて学びます。中小企業から大企業までさまざまな現場の安全管理について研究をしている講師の経験を活かし、それぞれの現場にとって「ちょうど良い安全管理」をどのように設計するかについて議論を深めたいと思います。

第5回 3/10 (火) 生産性向上に役立つ品質管理手法とグループワークでの実習

講師：荒木 慎吾 氏 (中小企業診断士 荒木慎吾事務所)

ものづくり企業が、スムーズな生産活動のために実施している取り組みのひとつが「生産管理」です。生産管理では、計画や資材、人員、設備といった生産活動に必要な管理全般を行います。これらの管理を適切に行い、生産性を向上させることが企業の成長につながるため、生産管理はものづくり企業にとって非常に重要な取り組みです。

本シリーズ最終回ではこの生産管理の中でも重要である品質管理について学びます。

前半にはQC7つ道具を一つずつ紹介するとともに、特に利用頻度の高いものについては、実際の改善事例を紹介いたします。また、後半は4～5人で1グループを構成し、QC7つ道具を用いて事例企業の品質改善策を立案していただくグループワークを行います。